

第5章 県民参加型環境教育・学習の推進

今日の環境問題は、生活排水による水質汚濁や自動車の利用増大による大気汚染・騒音、消費の拡大による廃棄物の増大など身近な問題から、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の問題まで、複雑多様化しており、これらの環境問題に対応するためには、県民一人一人が日常生活と環境との関係について理解と認識を深め、環境に配慮した責任ある行動をとることが不可欠と考えられる。

このため、家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれ年齢階層に応じた環境教育・環境学習の推進が必要である。

第1節 学習機会の拡充

1 環境マイスター派遣事業

県民が自主的に環境学習に取り組む際の支援制度として、県内に在住する環境活動のリーダーや研究者などを専門分野別に「環境マイスター」として登録した。地域の環境活動グループや町内会、PTAなど各種団体が学習会や講演会などを開催する場合に、マイスターを講師として派遣している。平成14年度の派遣実績は49回であった。

- ・派遣先 地域環境活動グループ、PTA、自治会、その他各種団体等が行う環境学習会等で、県民を対象として、参加者が概ね20名以上で、政治、宗教及び営利を目的としないもの。
- ・申請等窓口 派遣を希望する団体等の受付や、派遣に適した環境マイスターの選定等は、愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）のエコライフ推進員が行う。
- ・登録内訳 事業系環境保全部門17人 生活環境保全部門19人 自然環境保全部門26人
- ・派遣経費 環境マイスターの派遣に要する経費（謝金・旅費）は、県が負担する。



環境マイスター活動状況

2 えひめ環境大学

環境関連の専門の実務者や環境保全活動者などに、より高度な環境知識を修得してもらうため、学識経験者や環境分野の専門家を講師として迎え、専門的で質の高い講義内容の「えひめ環境大学」を実施した。平成14年度はメインテーマを「社会



と生活のあり方を環境問題から考える」に設定し表2 - 13 - 1のとおり開催した。受講者は約40人（特別公開講座は約100人）で、5回中4回以上の受講者には修了証書を交付した。

表2 - 13 - 1 えひめ環境大学の開催実績

年月日	演題及び講師	場 所	備考
14.7.6 (土)	「法律は環境と生活を守っているか」 愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼	テクノプラザ愛媛 (一般研修室)	
14.8.3 (土)	「地域内循環システムから持続可能社会をデザインする」 京都大学大学院 教授 内藤 正明	テクノプラザ愛媛 (テクノホール)	特別公開 講座
14.8.24 (土)	「地球温暖化 その影響と対策」 弁護士 浅岡 美恵	テクノプラザ愛媛 (テクノホール)	特別公開 講座
14.9.14 (土)	「環境保全型の経済社会をめざして 経済学は環境を守るか」 一橋大学大学院 教授 寺西 俊一	テクノプラザ愛媛 (一般研修室)	
14.9.28 (土)	「環境保全型農業の現状と政策課題 有機農産物を中心に」 愛媛大学 教授 胡柏	テクノプラザ愛媛 (一般研修室)	

3 生涯学習講座開設事業（コミュニティ・カレッジ：環境講座）

県民が心の豊かさや教養を高めるとともに、実社会において必要な知識や技術を習得するために、年齢、性別、職業などを問わず気軽に学習できる場として、豊富な学習項目と質の高い内容を備えた講座として、平成4年度からコミュニティ・カレッジを開設している。

「環境講座」は社会参画や現代社会の諸問題を解決していくための学習（特別コース）の一つとして平成12年度から実施しており、平成14年度は「自然環境保全や生活環境保全の観点から学習し、私たちのライフスタイルを考える」ことをテーマとして、表2 - 13 - 2のとおり開催した。

表2 - 13 - 2 環境講座（コミュニティ・カレッジ）の開催実績

年月日	内 容(テーマ)	講 師
H14.10.12	自然との共生を考える - 愛媛の山・川・海 -	松山東雲女子大学教授 石川 和男
H14.10.26	樹木医から見た環境問題	愛媛県環境マイスター、樹木医 武村 義治
H14.11.23	失われゆく野生生物の現状と課題	松山東雲短期大学教授 松井 宏光
H14.11.30	私たちと地球環境	元公立小・中学校校長 玉井 是治
H14.12.14	ドイツ環境首都フライブルグの環境政策	エコロジーネットワーク協議会理事長 余田 実
H15. 1.11	地球にやさしいリサイクル	愛媛リサイクル市民の会理事長 吉田 啓二
H15. 1.25	水から環境を考える	水をきれいにする会代表 武井 糸
H15. 2. 8	生活のあり方を考える - 消費者の役割 -	えひめ生活協同組合名誉理事長 立川 百恵

(開催場所：愛媛県生涯学習センター)

4 こどもエコクラブ事業

持続可能な社会を創るためには、21世紀を担う子ども達が将来に渡り環境を大切にす
る意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践していくことが必要であるため、環境省
では、平成7年度から「こどもエコクラブ」事業を通じて、子ども達の地域の中での主
体的な環境の学習や実践活動を支援し、県では、その普及啓発を図っている。平成15年
3月31日現在の登録数は、6市2町、52クラブで会員数1,048人である。

5 高等学校環境教育推進事業

環境教育の一層の充実を図るため、平成11年度まで実施した「地域に根ざす環境教育
推進校設置事業」等の実践活動を基盤として、新たに「高等学校環境教育推進事業」を
平成13年度から実施している。

この事業では、身近な環境問題に積極的に取り組み、地球的・国際的視野を持って実践
することができる生徒の育成、さらにはリーダーとなる生徒の養成を目的とし、「高等
学校環境教育実践研究校」の指定、「高等学校環境教育実践研究校研究協議大会」の開
催、「環境教育実践活動事例集」の作成・配布を行っている。

(1) 高等学校環境教育実践研究校

概 要

平成13年度から5年間で、全日制57校のすべての高等学校で研究を進めることと
しており、平成14年度は11校を環境教育実践研究校として指定した。

環境教育実践研究校は、次に示す六つの分野の中から、1分野を選び、生徒や学
校の実態を踏まえた高校生にふさわしい具体的テーマを設定して、家庭や地域との
連携を図りながら計画的・継続的に研究を行うこととする。

《研究分野》

- ア 河川や海洋に関する分野
- イ 土壌や動・植物に関する分野
- ウ 酸性雨や大気に関する分野
- エ 廃棄物に関する分野
- オ 国際的な環境に関する分野
- カ その他の分野

平成14年度高等学校環境教育実践研究校の取組

環境教育実践研究校では、生徒や学校の実態を踏まえ、高校生らしい深まりのあ
る探究活動を行うとともに、インターネット等を利用して地球規模の視点から環境
問題について取組んだ。各学校の取組は表2-13-3のとおりである。

表2 - 13 - 3

学 校 名	研究分野	研究テーマ	研究の取組内容
土 居 高 校	河川や海洋に関する分野	関川の河川環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・関川河川敷の清掃 ・水質検査 ・川砂の採取と採水
新居浜商業高校	廃棄物に関する分野	私たちにできる環境への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「ゴミ問題を考える」 ・「ゴミステーション通信」の発行 ・廃紙を土壌代わりとした花の育成・寄贈
今 治 西 高 校	廃棄物に関する分野	私たちが取組むゴミ処理問題・水問題	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミチェックシート」による意識調査 ・奉仕活動（校外） ・月間CT（クリーンタイムズ）の発行 ・各月5日をゴミ減量の推進日 ・講演会「今治市のゴミ問題と地球環境問題」 ・文化祭での展示 ・ゴミ減量標語募集・表彰
大 島 高 校	廃棄物に関する分野	ゴミ問題からリサイクルや省エネルギーへ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取組 ・ゴミの状況や環境に関するアンケート ・奉仕活動、ゴミの種類調査 ・ゴミ処理場の見学
北 条 高 校	その他の分野	私たちの惑星、地球のために私にできること - 自然環境を大切にすることを育む -	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動（校外） ・環境教育講話 ・教科での取組 ・理科（クリーン・エネルギー、川の水質検査、酸性雨が生物に与える影響） ・家庭（不用衣料等の再利用、割り箸回収） ・商業（生産構造・消費と環境の関係） ・産業社会と人間（官公庁や企業での環境問題への取組）
松 山 北 高 校	その他の分野	足もとから考える私たちのエコロジー	<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの栽培観察を通じた大気汚染度の測定 ・ゴミコンポストの設置 ・EM菌を利用した腐葉土の培養 ・環境に関する意識調査アンケートの実施 ・環境問題啓発ポスター制作・展示 ・環境問題に関するホームプロジェクト ・トイレの消臭 ・文化祭におけるリサイクル・ショップ ・校内エコ新聞 ・講演会「私たちのリサイクル運動と市民活動」
東 温 高 校	廃棄物に関する分野	自然のサイクルを考慮したゴミ削減とリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ問題の意識調査 ・EM菌によるくぬぎ林の活性化 ・地域の人たちへの講習会、HP開設 ・空き缶の分別、アルミ缶を福祉施設へ提供
内 子 高 校	河川や海洋に関する分野	小田川の流域における自然環境を大切に	<ul style="list-style-type: none"> ・水生昆虫と魚の生態調査 ・環境標語の募集 ・小田川の護岸工事の見学・説明 ・文化祭での調査結果展示
野 村 高 校	その他の分野	環境ボランティア活動の実践～わが町、野城路を美しく～	<ul style="list-style-type: none"> ・草花作り等の指導（一般町民対象） ・草花苗の花壇（公共）への植え付け ・奉仕活動 ・公共施設プラントナー飾り（役場、警察署等）
吉 田 高 校	河川や海洋に関する分野	国安川の水質調査及び環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ・国安川の美化清掃作業 ・花苗の植え付け ・国安川の水質調査
北 宇 和 高 校	その他の分野	身近な環境問題の解決のために～私たちにできること～	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇（町所有）の管理 ・奉仕活動（校外） ・校内の環境美化 ・ホームルーム活動での取組 ・ポスター制作（自然環境の保護、ゴミ捨てのマナー、リサイクル） ・壁新聞作成（紫外線の影響、森林伐採について、絶滅危機の動物を救おう、県内各地域の環境問題への取組） ・調査・発表（森林の役割、水田の役割）

(2) 高等学校環境教育実践研究校研究協議大会

目 的

環境教育実践研究校として指定を受けた学校から代表生徒と指導教員が参加し、各学校の活動成果や課題を発表したり、研究協議や先進的な取組をしている講師に

よる講演等を行ったりして、環境教育の改善や充実を図る。

大会の開催

平成15年2月17日に、県民文化会館において研究協議大会を開催し、実践研究校代表生徒が各校の活動状況や成果を発表したり、「環境問題への取組から学んだこと」をテーマにパネルディスカッションを行って学習を深めるとともに、環境問題を専門的に研究している愛媛大学農学部 林和男教授の講演を通して、新たな視点からの取組を決意することができた。

(3) 高等学校環境教育実践活動事例集の作成・配布

各高等学校への普及と活動内容の深化を目的とし、平成14年度環境教育実践研究校11校の実践研究の結果をまとめた事例集を作成して、すべての高等学校に配布した。

各学校においては、高等学校環境教育実践活動事例集を参考に、創意工夫を生かした取組を通して、環境保全やより良い環境のために主体的に行動できる生徒の育成に努めている。

第2節 多様な環境情報の収集と提供

1 えひめの環境ホームページ

本県の環境情報を県民に広く提供するために、「えひめの環境ホームページ」を平成15年3月により見やすくリニューアルした。このホームページでは、環境施策全般に関するお知らせ、環境白書、環境関係条例、要綱、環境影響評価等の情報を提供し、随時、内容の更新を行っており、様々な環境情報を見ることができる。



URL <http://www.pref.ehime.jp/kankyoku/k-hp/index.html>

2 環境地理情報システム（環境GIS）

環境白書等に掲載している本県の環境情報等を地図上に重ね合わせて提供する「環境地理情報システム（環境GIS）」を構築し、インターネット上で提供する体制を整備した。

このシステムでは、環境教育・学習の振興や県民・事業者による環境保全活動の活性化を目的として、大気、水質等の観測データ、各種規制区域、自然公園区域等の区域データ、えひめ自然100選等の施設データ、文化財の名称・関連資料などの情報を、地図上のポイントをクリックすることにより呼び出すことができる。

URL <http://envgisv02.pref.ehime.jp/>

3 環境創造センターホームページ

環境創造センターの取組みや、客員研究員が持つ様々な研究情報をホームページへ掲載し、情報発信している。

URL <http://souzou.pref.ehime.jp/>

4 愛媛県原子力情報ホームページ

県の放射線監視テレメータシステムで常時収集している伊方発電所周辺測定局の放射線データ（空間放射線線量率等）等を、リアルタイムで提供している。

また、伊方発電所の運転状況等の最新データ、伊方発電所の異常時通報連絡に係る県の報道発表資料、伊方原子力発電所環境安全管理委員会の開催状況等の原子力情報を、随時提供している。

URL <http://etelmtsv.pref.ehime.jp/>

5 こども環境白書（巻末付録参照）

- ・内 容 次世代を担う子供たちが身近な環境の状況に関心を持ち、環境活動・学習へかかわるきっかけを作るため、愛媛の環境の現状と県が環境保全のために講じている施策について、小・中学生向けの平易でわかりやすい絵で見る「こども環境白書」を作成した。

「えひめの環境」HP上でも公開している。

- ・規格等 A4判 22ページ 30,000部
- ・配布先 小・中学校、公立図書館、公民館等



愛媛県こども環境白書

「すみやすい星へ」



【家の中でおこっていること】



【今日からできること】

6 愛媛県レッドデータブック（第2部第3章第2節4参照）

- ・ 目 的 県内の絶滅のおそれのある野生動植物をリストアップし、その希少性の評価、生息・生育状況等を明らかにした愛媛県レッドデータブックを作成することにより、県内の自然生態系を保全し、野生動植物の種の多様性を確保するための施策及び県民の自然保護意識の醸成を推進する。
- ・ 規 格 等 A 4 判 約450ページ 1,500部
- ・ 配 布 先 公立図書館、各学校、県関係機関等



「レッドデータブック」

7 地球環境の保全に関する情報提供

地球温暖化対策普及啓発ビデオ

- ・ 内 容 地球温暖化の原因や影響、愛媛県地球温暖化防止指針、家庭でできる地球温暖化対策などの紹介。
- ・ 規 格 等 映像時間15分（カラー）：アニメーション主体の映像 350本
- ・ 配 布 先 保健所等県関係機関、市町村、環境NPO等



「ストップ・ザ・地球温暖化」

地球温暖化パンフレット

- ・ 内 容 愛媛県地球温暖化防止指針、家庭でできる地球温暖化対策などの紹介。
- ・ 規 格 等 A 4 判 4ページ 35,000部
- ・ 配 布 先 保健所等県関係機関、市町村等

8 ごみの減量・リサイクル推進の啓発（第2部第2章第3節参照）

ごみ減量・リサイクル推進週間（5月30日～6月5日）、3R推進月間（10月）に併せて啓発用ポスターを作成し、市町村等に配布するとともに、エコライフ情報誌「合言葉は3R」の編集発行、容器包装リサイクル法普及啓発リーフレット「ごみをふたたび資源へ」の作成などを通じて、ごみの減量・リサイクルの推進について意識啓発を図っている。

第3節 環境保全意識の高揚

1 「環境の世紀を拓く 循環型ゼロエミッション社会の創造」フェアの開催

環境の世紀といわれる21世紀を迎えるにあたり、行政や企業の取組みを紹介するほか、21世紀を担う子ども達や一般県民を対象に「環境」と「資源循環型社会」の大切さを訴え、県民の環境保全意識の高揚を図るため、愛媛新聞社や松山市などと共同してフェアを開催した。

- ・日 時 平成14年 6月15日(土)～16日(日)
- ・会 場 松山市総合コミュニティセンター
- ・内 容 式典、こども環境会議(県内小学校の事例発表、討論会)、環境ミュージカル、展示会、フリーマーケットの開催など
- ・参加者 2万人



フェア開催の様子

2 環境啓発図画コンクール

環境意識啓発用図画を小・中学生対象に募集することにより、環境教育の一環とするとともに、県民の環境保全意識の高揚を図った。

- ・募集対象 県内小学生・中学生
- ・募集期間 平成14年 4月1日(月)～平成14年 5月24日(金)
- ・応募点数 76点(小学生53点、中学生23点)
- ・最優秀賞 2点(小学生1点、中学生1点)
- ・優秀賞 10点(小学生5点、中学生5点)
- ・掲 示 ・「環境の世紀を拓く 循環型ゼロエミッション社会の創造」フェア
・環境白書、こども環境白書

3 空缶等不法投棄防止四国統一キャンペーン

四国4県で共同して、空缶の不法投棄防止を図るために4県事業担当課で「循環型社会構築四国連携協議会」を設立し、県民への機運を盛り上げ、住民への意識啓発を図ることを目的として「空缶等不法投棄防止四国統一キャンペーン」を実施した。

キャンペーンの標語を四国内小学生を対象に平成15年1月9日～2月5日まで募集したところ、約3,000通の応募があり、各県ごとに入賞作品について受賞者の表彰式を実施した。

この標語募集で各県の優秀賞に選ばれた4作品については、1枚のポスターにし平成15年3月末から6月末まで四国内のJRの駅、高速道路のSA・PA、道の駅、小学校、市町村に配布掲示し、四国住民への意識啓発を図った。

愛媛県分受賞者

優秀賞 藤原 誓太郎（東予市立国安小学校5年）

『空缶ポイ捨て^{ゼロ}作戦！ みんなの願い
きれいな四国』

佳作 中村 一貴（三瓶町立蔵貫小学校2年）

『すてるより みんなあつめて リサイクル』

小島 幸（明浜町立俵津小学校6年）

『「私だけ」そんなつもりが 缶の山』

各県優秀賞作品

徳島県 古川 武（脇町立岩倉小学校6年）

『ボク捨てない 大きな夢と 小さな空缶』

香川県 黒光 祐輝（香川町立川東小学校3年）

『なりたいな すてるひとより ひろうひと』

高知県 宮崎 紫亜（中土佐町立矢井賀小学校6年）

『あカンゼよ 龍馬がゆるさぬ！ポイ捨ては』



左から藤原君、中村君、小島さん

4 クリーン愛媛運動

- ・目的 豊かな自然と風土に恵まれたふるさと愛媛の住みよい快適な生活環境を創造する。
- ・運動内容 昭和52年度から7月をクリーン愛媛運動強調月間、また、国が定めた環境衛生週間（9月24日～10月1日）中を秋のクリーン愛媛運動実施週間とし、県民意識の啓発と県民総参加による河川、海岸、道路、公園等公共施設などの清掃美化活動を展開しており、平成14年度は、延べ約37万9500人の県民の参加を得て環境美化活動を実施した。

5 ふるさとづくり顕彰事業

地域住民、企業等が自主的・主体的に取り組んでいる地域特性をいかした地域づくり活動並びに地域の風土と調和し、優れた景観形成に寄与している建造物を表彰することに

より、県民の地域づくりに対する意識の高揚を図るとともに地域づくり活動の促進を図った。

なお、平成13年度より、県民の全てが環境保全活動に参加する社会づくりの一環として、ふるさと愛媛創造賞の表彰対象に、環境学習活動（環境情報提供を含む。）及び環境に配慮した企業活動を加えた。

ふるさと愛媛創造賞（活動部門）

・目的 地域住民、企業等が自主的、主体的に取り組んでいる地域づくり活動の顕彰

・被表彰者 鬼北文楽保存会（広見町）
段畑を守ろう会（宇和島市）

えひめアメニティ賞（建造物部門）

・目的 地域の優れた景観の形成に寄与している建造物の顕彰

・被表彰者 アトリエ素心居（阿部宏子）
久万町立父二峰小学校校舎・幼稚園園舎（久万町）



久万町立父二峰小学校校舎・幼稚園園舎

6 自然保護思想の普及啓発

県内のすぐれた自然を県民共通の財産として守り、育て、次の世代に引き継いでいくために、自然保護思想の普及啓発に努めている。

(1) 「えひめ自然に親しむ集い」の開催

直接自然とふれあう中で、自然に対する理解を深めるとともに自然保護意識の啓発を図るため、一般県民を対象に「えひめ自然に親しむ集い」を開催した。

- ・開催日 平成14年10月26日
- ・参加者 約150名
- ・場所 えひめこどもの城及びその周辺（松山市）
- ・内容 基調講演、アトラクション、クイズ、自然体験活動、草木染め

(2) 親子愛鳥教室の開催

豊かな自然の中で親子が一緒に野鳥とふれあいながら、野鳥に関する様々な知識を習得し、自然保護の大切さを理解できるよう、県内の小中学生とその保護者を対象に平成8年度から毎年「親子愛鳥教室」を開催しており、平成14年度の開催状況は次のとおりである。

- ・開催日 （第1回目）平成14年5月11日
（第2回目）平成14年10月19日

- ・参加者 各50名
- ・場 所 (第1回目) 愛媛県営総合運動公園・えひめこどもの城(松山市)
(第2回目) 権現山周辺(瀬戸町)
- ・内 容 野鳥の生態等に関する講義及びバードウォッチング

7 省資源・省エネルギー運動推進事業

省資源・省エネルギー運動を県民運動として推進し、県民意識の高揚を図るため、推進大会及び展示会を開催したほか、リーダー研修会を実施するとともに啓発資料の作成・配布を行った。

(1) 省資源・省エネルギー推進大会及び展示会

- ・場 所 県女性総合センター
- ・開 催 日 平成15年2月18日
- ・参 加 者 121名
- ・内 容 講演会、表彰、活動事例発表、パネル・作品展示等

(2) 省資源・省エネルギーリーダー研修

省資源・省エネルギー運動の担い手である地域のリーダーを集めて、省資源・省エネルギーに対する意識を高め、さらに活動の輪を広げていくことをねらいとして研修を行った。

- ・場 所 双海町役場会議室
- ・開 催 日 平成15年1月28日
- ・参 加 者 29名

(3) 啓発資料の作成・配布

啓発リーフレットを3,000部作成し、省エネルギー月間（2月）に配布した。

8 暮らしの中の省資源問題啓発事業

省資源・省エネルギー・リサイクル運動について、効果的な意識啓発や生活に根ざした実効性の高い運動を展開するため、講演会を開催するとともに、資源の再利用研修会等を開催し、省資源についての意識啓発を行った。

- ・委 託 先 えひめ生活センター友の会
- ・実施状況

講演会の開催 4回（松山市他）

資源の再利用研修会・省資源に関する講習会・展示会等 23回（松山市他）

9 「かしこい省エネ家族」育成啓発事業

環境家計簿（家庭で消費する電気やガス、灯油、ガソリンなどの使用量や家庭から出されるゴミや缶、ビンの量を記帳することによって、各家庭の二酸化炭素排出量を計算できるもの）を普及させることで、家庭の省エネ意識の高揚を図り、環境に配慮したライフスタイルへの転換を推進するために、環境家計簿の作成、モニター募集、環境家計簿普及講習会、省エネ・環境標語の募集を行った。

(1) 環境家計簿の作成・配布

えひめ環境家計簿（A4判、20頁）を4,000部作成し、地方局、市町村、消費者団体等を通じ、希望者に配布した。

(2) 環境家計簿モニターの募集

省エネや環境問題に関心の高い20歳以上の県民から50名の環境家計簿モニターを公募し、環境家計簿モニター講習会の受講、環境家計簿の記帳（夏季冬季各3ヶ月）及び記帳体験に基づく提言を求めた。

(3) 環境家計簿普及講習会の開催

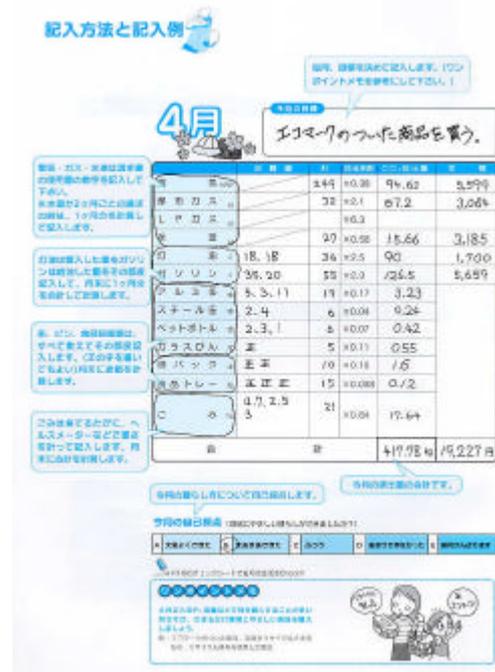
各地方局ごとに、環境家計簿普及講習会を開催した。

表2-13-4 環境家計簿普及講習会開催状況

地方局	開催場所	開催年月日	参加者数
西条	西条市橘地区公民館	平成14年9月25日	41人
今治	今治地方局会議室	平成14年9月25日	29人
松山	松山地方局会議室	平成14年9月11日	20人
八幡浜	宇和町中央公民館	平成14年8月21日	27人
宇和島	宇和島市明倫公民館	平成14年9月13日	38人

(4) 省エネ・環境標語（スローガン）の募集

- ・募集期間 平成14年9月1日～10月31日
- ・入賞 最優秀賞 1点 「地球は今 赤しんごう
未来につなごう 青い地球」
- 優秀賞 6点 「省エネは あなたの知性と行動で」他
- ・最優秀賞標語は省エネ啓発パンフレットに掲載した。



「えひめ環境家計簿」

